

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ①売買目的有価証券の評価は、時価法を採用しています。
- ②満期保有有価証券の評価は、償却原価法を採用しています。
- ③子会社及び関連会社株式の保有はありません。
- ④その他の有価証券は、時価のあるものは時価法を、時価のないものは原価法を採用しています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

事務所敷金は、時の経過により減価しない資産として処理しています。

(3) 期末における、公益目的取得財産残額は、743,386,468 円です。

(4) リース取引の処理方法

複合機、パソコンのリース取引は、リース後の市場価値が低いことから、通常の賃貸借取引で処理しています。

(5) 消費税の会計処理

消費税は、税込み方式で処理しています。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券(投資資産)	290,000,000	0	0	290,000,000
小 計	290,000,000	0	0	290,000,000
特定資産				
投資有価証券(投資資産)	710,000,000	300,000,000	300,000,000	710,000,000
特定資産預金	80,318,540		35,318,540	45,000,000
小 計	790,318,540	300,000,000	335,318,540	755,000,000
合 計	1,080,318,540	300,000,000	335,318,540	1,045,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産特定預金				
投資有価証券(投資資産)				
小 計	290,000,000	(0)	(290,000,000)	(0)
特定資産				
投資有価証券(投資資産)	710,000,000	0	710,000,000	0
特定資産預金	45,000,000		45,000,000	
小 計	755,000,000	(0)	755,000,000	(0)
合 計	1,045,000,000	(0)	1,045,000,000	(0)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産特定預金				
投資有価証券 (投資資産)				
小 計	290,000,000	(0)	(290,000,000)	(0)
特定資産				
投資有価証券 (投資資産)	710,000,000	0	710,000,000	0
特定資産預金	45,000,000		45,000,000	
小 計	755,000,000	(0)	755,000,000	(0)
合 計	1,045,000,000	(0)	1,045,000,000	(0)

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

該当なし